



南部町立南部中学校 学校だより 第21号

# 千一ム南部中

令和2年 2月13日 (木)

校長 望月和彦

## 「3年生を送る会」に向けての取り組み！

生徒会役員にとって、最初の大きな事業が2月21日に行われる「3年生を送る会」です。1月30日の総決起集会で生徒会事務局が1・2年生に示した今年度のテーマは「伝える」。そして送る会の目的は次の3つです。

「3年生に感謝や激励などの思いを伝える。」「1・2年生で企画、運営を行い、3年生が安心して卒業を迎えられるようにする。」「“2年は最上級生になる” “1年生は先輩になる” という自覚を持つ。」生徒会事務局（総務



係)の下に「招待・装飾」「記念品」「スライド」「合唱」「応援」「贈る言葉」の各係の組織が作られ、1・2年生がそれぞれの役割を担って着々と準備を進めています。送られる側の3年生も「中学校生活を振り返り、仲間や後輩たちに感謝し、自分たちが築いてきたものをつなぐ。」という意識を持って会に臨んでくれることでしょうか。本番では1・2年生がどんな気持ちを表現するのか、それに対して3年生がどう応えるのか、今からとても楽しみです。

## 来年度の新入生が南中にやってきました



2月5日(水)、令和2年度の本校入学予定児童の一日入学がありました。今のところ令和2年度の新入生は、睦合小23名、栄小9名、富河小12名、万沢小5名の合計49名です。児童は各小学校から担任の先生と一緒にスクールバスで来校し、保護者の方々も開始時刻に合わせて来校してくれました。前半は蒙軒ホールで、私と生徒会長から歓迎の言葉を述べた後、各担当教員から中学校の教育課程、中学校での生活の仕方やルール、入学に向けての準備と入学式、通学方法など本校の概要についての説明をしました。概要説明の最後には、2学年生徒会のメンバーが、生徒会活動や部活動、学校行事や日常生活について、スライドを使って分かりやすく丁寧に説明してくれました。中学校の概要については担当教員が短時間で一気に説明したので、6年生は情報量に圧倒されたかもしれません。しかし、2年生のスライドを使った中学校生活の説明には、6年生たちの顔もほころび、中学校生活に希望や期待を持ってもらえたようです。

後半は、2学年生徒会のメンバーが6年生をランチルームに案内し、入学式に向けて校歌を指導しました。最初は中学生が範唱し、その後に6年生と一緒に歌って覚えてもらいました。6年生は大変音感がよく、谷川俊太郎作詞・久石譲作曲の本校の誇る校歌をほぼ歌えるようになりました。その後、児童を3チームに分け、2年生が校舎を案内しながら、9つの部活動も見学しても



らいました。一方、保護者の皆さんには、前半に引き続き蒙軒ホールに残っていただき、橋本教頭よりPTA活動、学年費と集金、連絡手段などについて説明し、稲葉生徒指導主事より、スマホやネットに関わるトラブルとゲーム障害についてもお話をさせていただきました。残りの時間は、望月武彦教務主任が希望者に校舎を案内いたしました。短い時間でしたが、児童とその保護者の方々に、南部中学校の教育内容や中学校生活について理解してもらう機会になりました。

## 中高連携のその後～アシスト授業と総合学科発表会～



本校では年度当初から、火曜日と木曜日に身延高校の富田唯我先生が来校し、3の1、3の2、3の3の数学の授業に入り、新山敬教諭が指導する3年生の学習をサポートしてくれました。3年生が受験モードになり、入試やその対策に集中するため、12月半ばからはアシストの対象を3年生から2年生に移しています。富田先生は現在、2年生のA組・B組の山之内進教諭の数学の授業のアシストに入って、2年生の学習をサポートしています。山之内教諭が全体に向けて説明や指示を出している間、富田先生は机間巡視を行いながら一人一人の理解状況をチェックし、思考が停滞している生徒にヒントを与えたり、個別の質問に答えたりしてくれています。また、中学校で学習した内容が、高校の内容にどのようにつながっているかを教えてくれたり、高校で学習する発展的な内容に触れてくれたりして、生徒たちの学習活動に刺激を与えています。

また、2月8日には身延総合文化会館で身延高校の「総合学科発表会」が行われました。この行事は、身延高校の各学年の代表がキャリア学習で学んできた成果を、高校の仲間や中学生や地域の方々に発表する行事です。2学期に南部中で実施した「キャリアセミナー」（身延高1年生がキャリア学習の成果を発表）の発展的完成版と言える内容でした。中学2年生を対象にしていますが、昨年度は本校からの参加者は5名ほどでした。内容が素晴らしいことから、今年度は行き帰りのスクールバスを準備したところ、生徒、保護者併せて18名の参加者がありました。1年生代表グループは様々な職場訪問で学んだことの成果を、2年生代表グループは保育施設でのインターンシップで学んだことや探究活動で調査した「教育と貧困について」の研究成果を、3年生の代表2名は将来の夢をどのように描き、どのようにして自分の夢

を実現したのかを発表してくれました。さすが高校生の代表であり、内容はもちろん、発表する態度や聴取者に伝える技術も大変優れたものでした。多くの本校卒業生が発表者や司会者として活躍していましたが、私が最も心に残ったのは、最後に発表した高3の石原和樹くん（本校卒業生）の発表でした。「Sense of Purpose（目的意識）」というテーマで、すべて英語で、高校生活を通して目的意識を常に持ち、自分の夢を実現したことを堂々と発表していました。参加した2年生は多くのことを学んだことでしょう。



## 伝統文化「雅楽」の学習

2年生の音楽の授業では、日本の伝統的な音楽である「雅楽」を学習することになっています。1月31日（金）にNPO法人の「雅梨会」の方々が「ゲストティーチャー」として来てくださり、2年生に「雅楽」の説明をしながら演奏を聴かせてくれました。後半には、生徒

たちに高価な楽器の演奏を体験もさせてくれました。日本の伝統文化を学ぶ貴重な機会になりました。



## ICT教育のサポート

3年生は理科のまとめの授業で、自分が調査した内容をパソコンソフト「Word」を使ってレポートにまとめる学習をしました。3年生の理科は望月武彦教諭が指導していますが、1月31日、町のICT支援員の加藤功先生がサポートに来てくれました。

「Word」を使って効率よく、見栄えのするレポートの作り方の手順や留意点などを細かく教えてくださいました。

